



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月13日

上場会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 6092 URL <http://enbio-holdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 中村 賀一 TEL 03 (5297) 7155  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	323	-	△18	-	△25	-	△20	-
26年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △22百万円 (-%) 26年3月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△4.99	-
26年3月期第1四半期	-	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

2. 当社は、第1四半期の業績開示を平成27年3月期から行っているため、平成26年3月期第1四半期の記載及び平成27年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	1,809	1,389	76.8	335.18
26年3月期	2,220	1,384	62.4	345.31

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,389百万円 26年3月期 1,384百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	21.9	253	9.3	246	31.1	158	51.8	55.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	4,144,200株	26年3月期	4,009,200株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	-株	26年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	4,055,189株	26年3月期1Q	-株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成26年8月13日付にて四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による効果が下支えする中、企業業績の向上や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかながら回復の動きがみられましたが、円安による原材料や燃料費、電気料金の値上がりや消費税増税等もあり、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況については、住宅着工の動向は、緩やかな持ち直しの傾向が続く中、堅調に推移してきましたが、足元では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあって減少しています。当社グループを取り巻く環境も一部懸念材料を抱えた状況で推移してまいりました。

持分法適用会社が事業を展開する中国では、2004年～2013年に実施された中国全土の土壤汚染調査の結果が4月に公表されました。法整備を睨んだ国のモデル事業等の具体化が進むものと見られます。

このような背景のもと、土壤汚染対策事業を中心に関連機器・資材の販売やブラウンフィールド開発への展開を積極的に進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は323,278千円となり、経常損失25,091千円、四半期純損失20,254千円となりました。

以下に各事業セグメントの状況を報告いたします。

#### ①土壤汚染対策事業

国内につきましては、営業体制の強化による情報収集や提案活動の強化等、新たな顧客の需要開拓に注力してまいりましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られました。

中国につきましては、前期に実施した調査工事から浄化工事に発展した案件の受注活動及び新規案件の情報収集に注力いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は113,675千円となり、セグメント損失は24,988千円となりました。

#### ②土壤汚染関連機器・資材販売事業

ジオプローブマシンのツール及び浄化工事用のポンプ類の販売が堅調でした。また、ラディアント社製太陽光パネル設置架台及び杭の販売が堅調でした。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は179,979千円となり、セグメント利益は23,472千円となりました。

#### ③ブラウンフィールド活用事業

大手不動産仲介業やクリーニング業界からの情報収集及び仕入活動を強化するとともに、前期に仕入れ、浄化等が完了している物件を1物件販売いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は29,623千円となり、セグメント損失は1,575千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,809,084千円と前連結会計年度末に比べ410,985千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が174,579千円、受取手形及び売掛金が294,022千円、たな卸資産が8,099千円が減少した一方で、投資その他の資産が投資有価証券の増加等により43,278千円増加したことによるものであります。

#### ②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、420,017千円と前連結会計年度末に比べ415,626千円減少いたしました。これは主に長期借入金が120,954千円、買掛金が125,687千円、1年内返済予定の長期借入金が58,992千円、短期借入金が55,000千円、未払法人税等が62,899千円減少したことによるものであります。

#### ③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,389,067千円と前連結会計年度末に比べ4,640千円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使請求に伴う新株発行により資本金が13,500千円、資本準備金が13,500千円が増加した一方で、四半期純損失が20,254千円計上されたことと、為替換算調整勘定が2,213千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,074,421	899,842
受取手形及び売掛金	479,168	185,146
たな卸資産	375,501	367,401
その他	51,078	71,295
貸倒引当金	△3,304	△1,597
流動資産合計	1,976,865	1,522,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,471	6,055
機械装置及び運搬具(純額)	9,362	8,514
土地	137,164	138,071
その他(純額)	1,438	2,528
有形固定資産合計	154,436	155,170
無形固定資産	2,066	1,844
投資その他の資産	86,701	129,980
固定資産合計	243,204	286,996
資産合計	2,220,070	1,809,084
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,472	95,785
短期借入金	126,500	71,500
1年内返済予定の長期借入金	127,196	68,204
未払法人税等	66,417	3,517
その他	61,413	69,320
流動負債合計	602,999	308,327
固定負債		
長期借入金	232,644	111,690
固定負債合計	232,644	111,690
負債合計	835,643	420,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	415,782	429,282
資本剰余金	487,929	501,429
利益剰余金	471,068	450,814
株主資本合計	1,374,780	1,381,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	295
繰延ヘッジ損益	47	△76
為替換算調整勘定	9,535	7,321
その他の包括利益累計額合計	9,646	7,541
純資産合計	1,384,426	1,389,067
負債純資産合計	2,220,070	1,809,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	323,278
売上原価	229,174
売上総利益	94,103
販売費及び一般管理費	112,682
営業損失(△)	△18,578
営業外収益	
受取利息及び配当金	64
為替差益	1,291
その他	237
営業外収益合計	1,593
営業外費用	
支払利息	1,778
持分法による投資損失	4,610
その他	1,717
営業外費用合計	8,107
経常損失(△)	△25,091
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,091
法人税、住民税及び事業税	3,038
法人税等調整額	△7,876
法人税等合計	△4,837
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,254
四半期純損失(△)	△20,254



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,254
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	231
繰延ヘッジ損益	△123
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,213
その他の包括利益合計	△2,105
四半期包括利益	△22,359
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,359
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	土壌汚染関連 機器・資材販 売事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	113,675	179,979	29,623	323,278	-	323,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,673	2,870	131	16,675	△16,675	-
計	127,348	182,850	29,755	339,954	△16,675	323,278
セグメント利益又は損失(△)	△24,988	23,472	△1,575	△3,092	△21,999	△25,091

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△89,424千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益67,424千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。